

地域の声を県政に

これまで、家族の協力を受けながら県政活動に励んでまいりました。常に家族の幸せが政治の原点だと確信しています。5年前、その家族のひとり正成(大学生)を突然失いました。今、姿は見えなくとも心は一つ、家族として共に生きてまいります。そして、次世代を担う子供たちの未来を考え、数多くの皆様とコミュニケーションを取りながら、大好きな緑区で家族と地域の皆様と生活してまいります。

菜美絵(長女)

兄と共に、
父をサポート
しています。

高橋まさお

地域のために、
汗を
流しています。

直子(妻)

黒子役の
妻であり、
母です。

佑輔(長男)

汗を流して
働いて
います。



生前の正成(次男)

TAKAHASHI MASAO PROFILE

●生い立ち
昭和27年1月1日浦和市中尾
(現、さいたま市緑区)
2女2男の末っ子として出生
原山幼稚園・尾間木小学校
東浦和中学校・浦和南高校を経て
中央工学校建築科卒

●資格
一級建築士
宅地建物取引士

●活動歴
小中学校PTA会長・市P連会長
自治会長・消防団員
商店会長・社会教育委員
女性政策推進協議会委員

行政改革推進懇話会委員
埼玉県信用保証協会理事
県農業会議議員
うらわ競馬場議会議員
県職業能力開発審議会委員
県国土利用計画審議会委員
都市計画審議会委員

●議会活動
第125代副議長



「まーちゃんの日記」365日
<http://www.marchan.jp>

高橋まさお事務所
〒336-0932 さいたま市緑区中尾270
TEL 048(873)4369 FAX 048(873)8489

後援会活動資料



埼玉県議会議員

高橋まさお



私たちの住む「緑区」、
大好きな「緑区」、誇れる「緑区」
地域の声を県政に
子供たちの未来のために
医療・交通・防災のビッグプロジェクトを実現
すべては、これからを担う子供たちのために

高橋まさおが取組む 5つのプロジェクト

実現

①大学附属病院建設着工

地域の皆様の医療サービス向上のために

高橋まさおは、地域皆様の強い要望である「医療サービス体制整備」のための 大学病院県内誘致活動を継続してきました。長年の活動が実を結び、新病院 & 新看護学部&新大学院の基本設計が着手されました。先進的な医療サービスの提供を始め、医療人材の育成と、地域の医療機関との連携が実現します。



確約

②新見沼大橋無料化へ 地域の皆様の負担軽減のために

首都圏最大の緑地空間、見沼田んぼを通る「新見沼大橋」は、建設資金108億円を投入し、4年の歳月をかけ完成したものです。1996年の開通以来有料道路として、渋滞の解消や、緑区東西の幹線道路として機能しています。現在は、埼玉県道路公社が維持管理していますが、2026年11月にさいたま市に移管され無料化される予定です。高橋まさおは、無料化実現に前進してきました。



計画

③防災公園整備(旧教育センター跡地) 地域の皆様の安全を目指して

緑区三室の旧埼玉県教育センターは1967年に開所しました。2011年にセンターが移転したことにより、その跡地利用について、高橋まさおは、県に対して防災公園への転用を要望してきました。東京ドームのグラウンドより広い約14,000m²の敷地を、一般売却をせず、さいたま市に移管のうえ、地域の皆様の安心・安全につなげるために計画を立て実行しています。



推進

④東西交通ルート開設 次世代、地域の皆様の便利・快適を目指して

首都高速道路の第2産業道路から緑区東部への延伸。そして、浦和美園駅から大宮駅や新都心駅等への鉄道「東西交通ルート」の整備を提言しています。東西交通ルートの開設は、緑区の発展に大きく寄与するものです。高橋まさおは、次世代の地域の皆様が便利に快適な生活が送れる夢の実現を推進してきます。



教育

⑤文化芸術の埼玉県づくり 世界に誇れる私たちと国と県

激動する世界において、東アジアの不安定な地域に位置する日本。近隣の国および世界の国との関わりを考えるときに、防衛力の強化は当然の事として、文化芸術力を高めることが必要です。誇れる国・県の魅力向上、そこに住む私たちの豊かな力を将来へ向けて、継承熟成させなければならない。世界に誇れる新たな価値の創造の教育を充実させなければならない。高橋まさおは、地域の皆様と共に知恵と汗を流して働いて参ります。

